

# 再生医療 2社と提携

## ヒューマンライフコード

### へその緒活用、白血病向け

る細胞を使い、白血病の合併症を治す治療薬の開発を目指している。ロートが薬を製造するなど、事業体制を固める。

医薬品卸会社、アルフレッサホールディングスの子会社であるアルフレッサとも提携した。

開発中の治療薬は、へその緒から間葉系細胞を増殖させたもの。白血病の治療時に起こる合併症を治す。国内の患者は約1500人とされる。今後、臨床試験を経て、2023年に製造販売の承認を申請する計画だ。

あらかじめ同意を得た妊婦から、へその緒や臍帯血(さいたいけつ)をもらい、間葉系細胞を取り出す。大量に増やし、凍結させて保管する。

製造を引き受ける。同社は13年に、再生医療に参入した。東京、京都の研究所に細胞加工施設を持っている。アルフレッサは流通を担う。薬を医療機関まで輸送する際の最適な保管方法や輸送条件を検討する。

再生医療分野のスタートアップ企業、ヒューマンライフコード(東京・千代田)はこのほど、ロート製薬など2社と資本提携した。ヒューマンライフはへその緒に含まれ

ロートは間葉系細胞の

用できると同社は期待している。